



2020/3期（第44期）第2四半期 決算説明資料

株式会社フォーカスシステムズ
(証券コード：4662)

- 1 2020/3期（第44期）第2四半期決算について P.3
- 2 2020/3期（第44期）業績予想 P.21
- 3 <ご参考> トピックス P.23
- 4 <ご参考> 当社の概要 P.27

1 2020/3期（第44期）第2四半期決算について

決算

- ✓ 第2四半期累計期間における、過去最高の売上高・利益
- ✓ 着実な案件獲得・拡大、管理体制の強化を図り、全セグメントにおいて増収増益
- ✓ 会社設立以来初めてとなる中間配当（令和記念配当）の実施を決定

事業

- ✓ 「Society 5.0」の実現や「攻めのIT経営」の促進を目指した取組みが進んでいる背景から、市場動向としては、ビッグデータ・IoT・AI・5G時代におけるIT投資需要が拡大し、事業環境は良好
- ✓ 事業の発展を目的に、AIやクラウド等、先端技術を活用した取組みを推進
 - ・医療画像判定をAI化するシステムの開発
 - ・AIによるファッションショー演出の実証実験
 - ・Google Cloudパートナープログラムにおけるパートナー認定の取得 …等

※Society 5.0とは

「サイバー空間とフィジカル空間の融合により経済・社会的課題を解決し、人々が質の高い生活を送ることのできる人間中心の社会」を指し、第5期科学技術基本計画において、我が国が目指すべき未来社会の姿として提唱された。

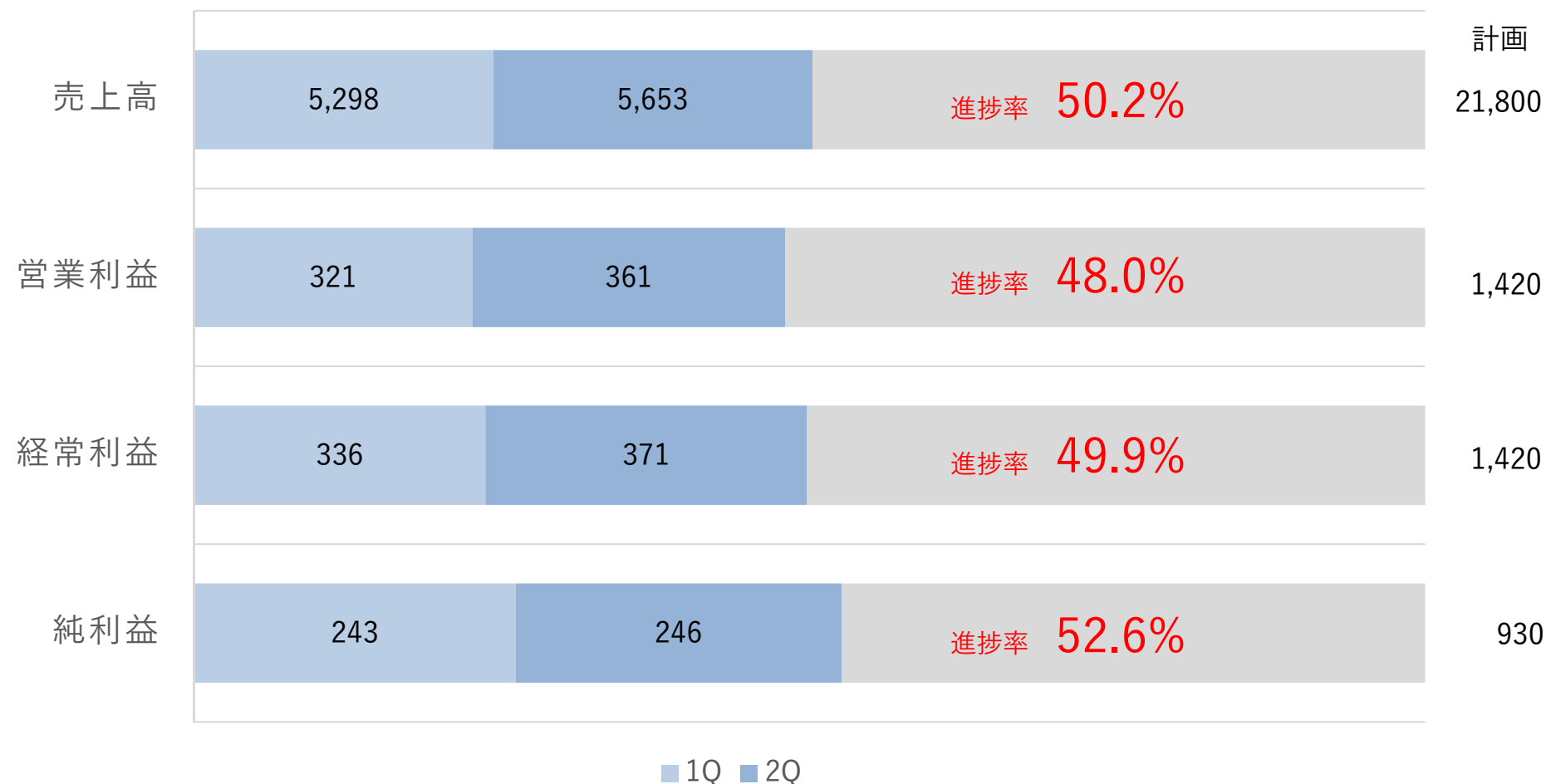
- ✓ 安定基盤をより強化しつつ、事業の発展に向けた基礎固めを推進した結果、売上・利益共に、堅調に推移

（単位：百万円）

| | 2019/3期 1Q 実績 | 2019/3期 2Q 実績 | 2019/3期 3Q 実績 | 2019/3期 通期 実績 | 2020/3期 1Q 実績 | 2020/3期 2Q 実績 | 前年同四半期比 | |
|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------|-------|
| | | | | | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 4,904 | 10,107 | 15,701 | 21,453 | 5,298 | 10,951 | 843 | 8.3% |
| 営業利益 | 288 | 621 | 1,056 | 1,368 | 321 | 682 | 60 | 9.7% |
| 経常利益 | 288 | 619 | 1,060 | 1,375 | 336 | 707 | 88 | 14.3% |
| 純利益 | 189 | 405 | 694 | 874 | 243 | 489 | 83 | 20.6% |

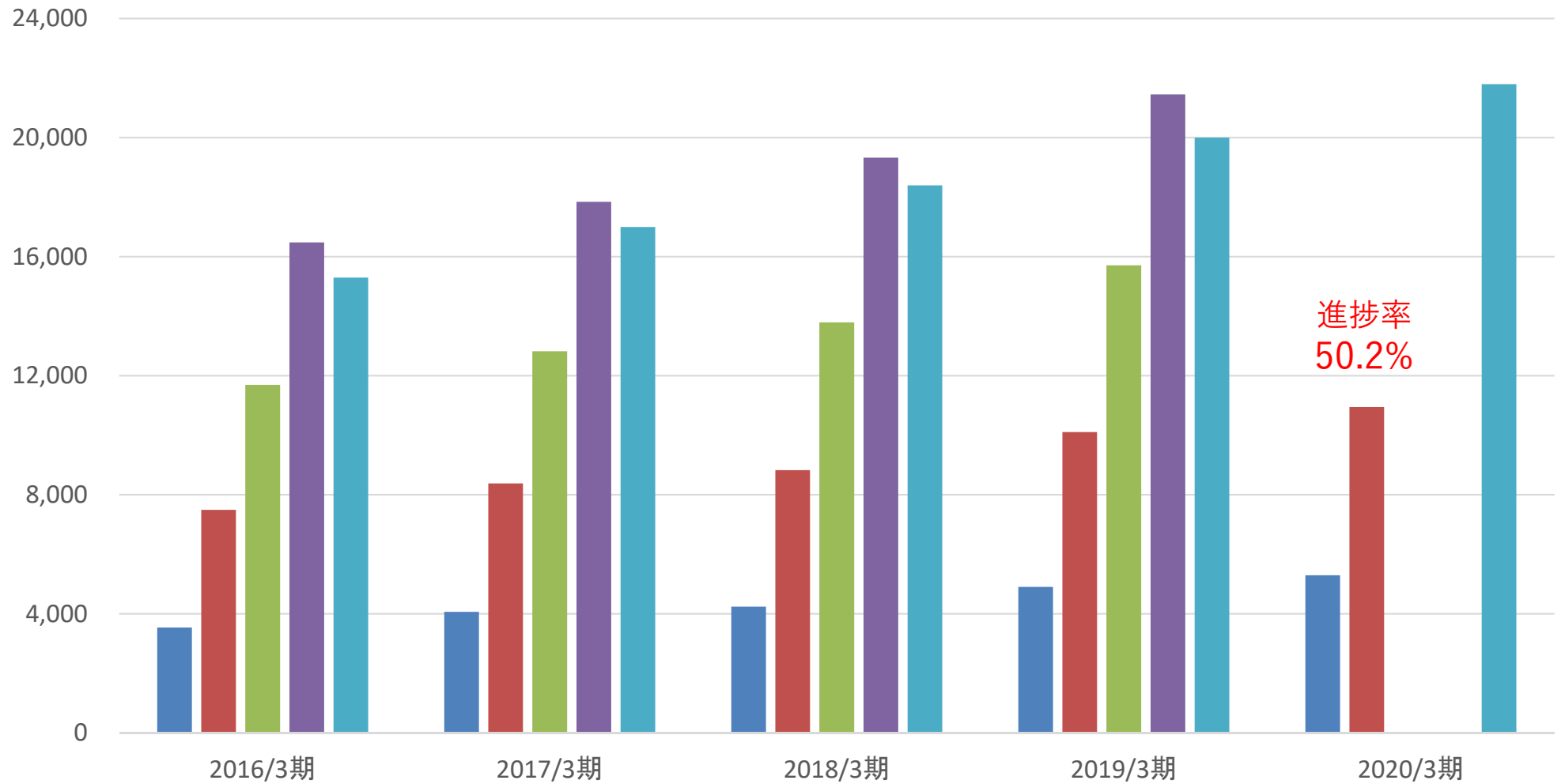
- ✓ 目立った特需案件や不採算プロジェクトが発生することなく、全セグメントにおいて事業が着実に進み、ほぼ計画どおりの進捗

(単位:百万円)



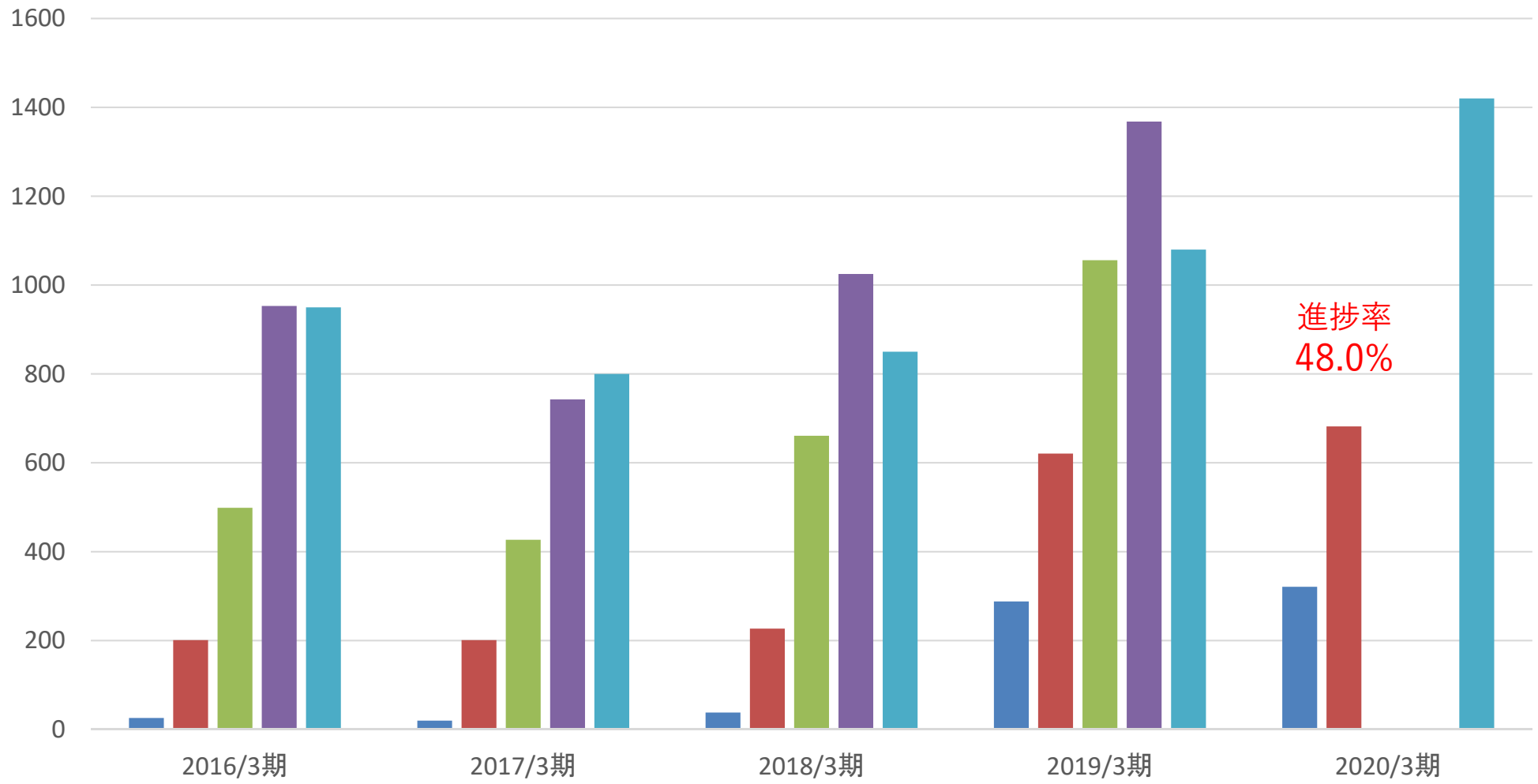
(単位:百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 期末 ■ 計画



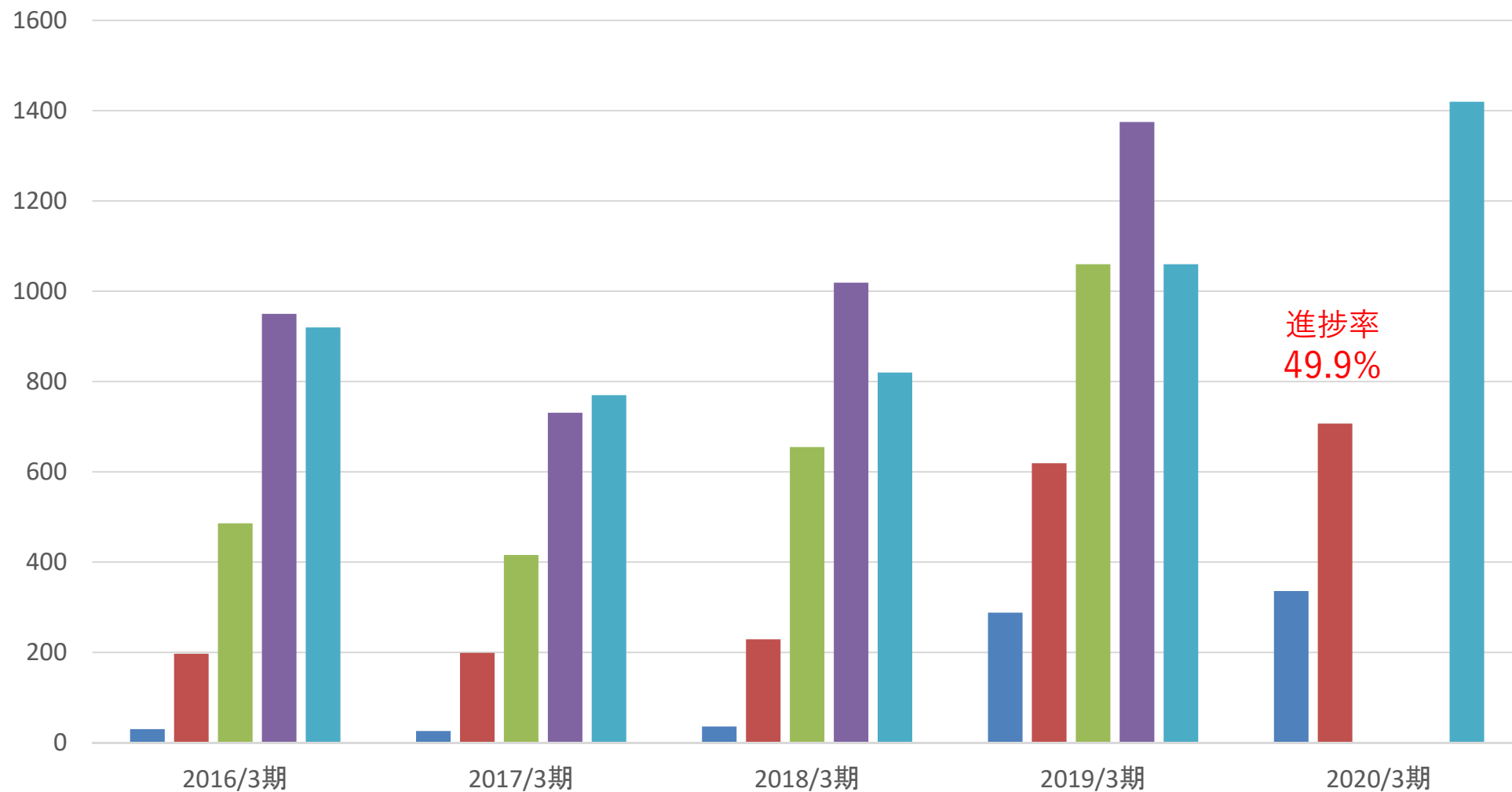
(単位:百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 期末 ■ 計画



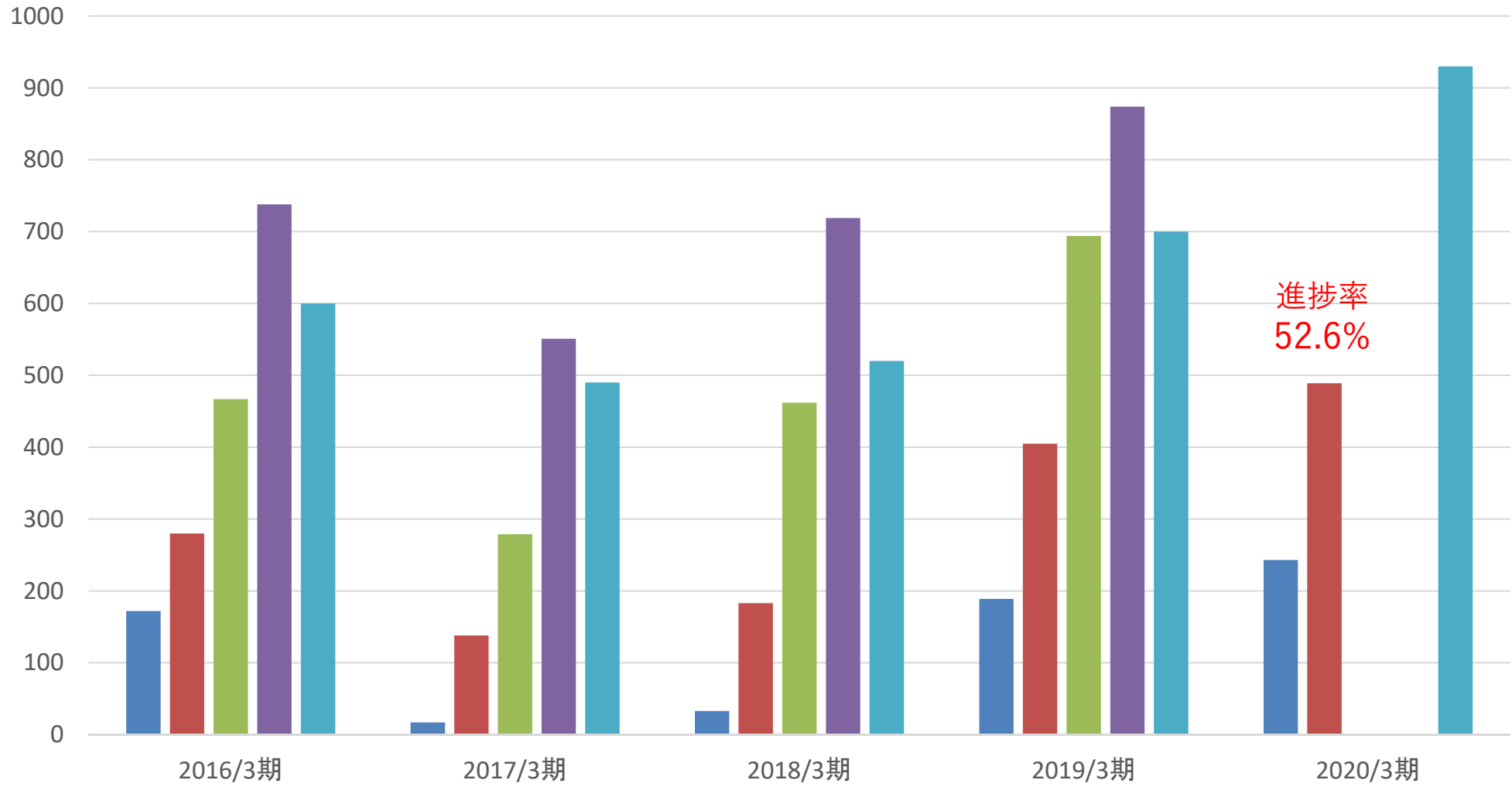
(単位:百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 期末 ■ 計画



(単位:百万円)

■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 期末 ■ 計画



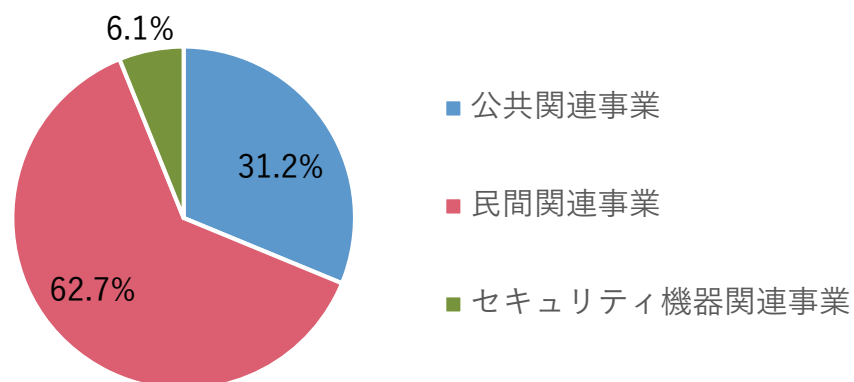
(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期 損益計算書 計上額 (注2) |
|---------|-----------|-----------|------------------|------------|-------------|-----------------------------|
| | 公共関連事業 | 民間関連事業 | セキュリティ 機器関連事業 | | | |
| 売上高 | 3,421,832 | 6,867,689 | 662,157 | 10,951,679 | — | 10,951,679 |
| セグメント利益 | 531,076 | 834,050 | 121,104 | 1,486,231 | △804,204 | 682,027 |

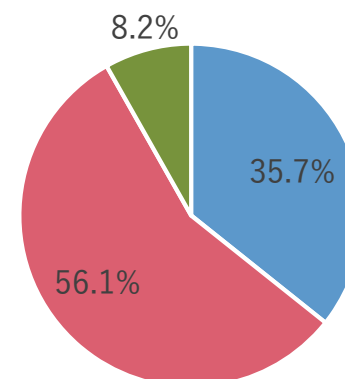
(注) 1 セグメント利益の調整額△804,204千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費（全社費用）です。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

売上高 構成比



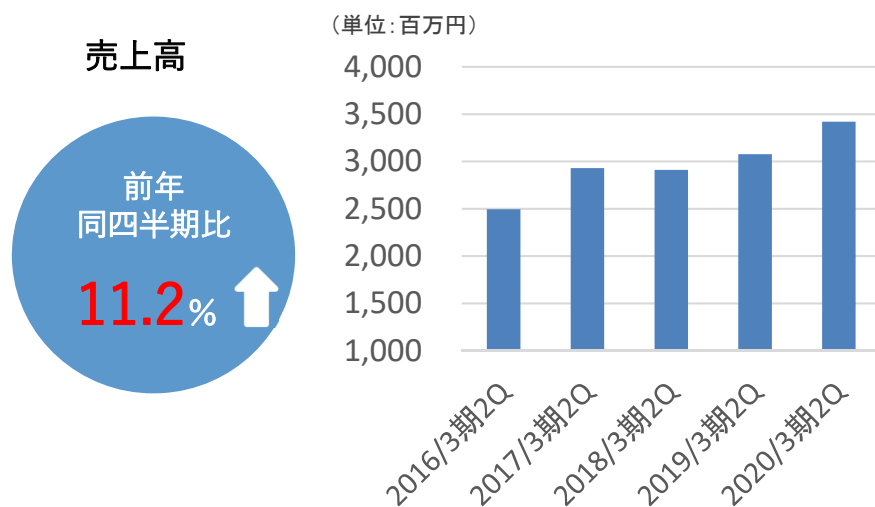
セグメント利益 構成比



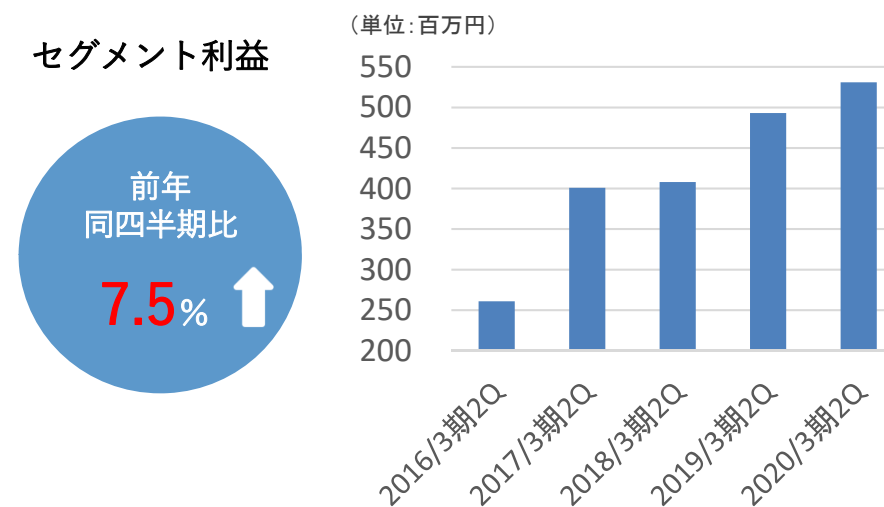
公共関連事業

最終ユーザーは官公庁および地方自治体。
 提案から設計、製造、試験、システム稼働後の保守・運用まで行う。
 財務システム、貿易システム、航空管制システム、福祉介護システム、社会保険システム等
 さまざまなシーンで社会を支えている。

売上高



セグメント利益



- ✓ 各プロジェクトにおいて、開発フェーズ・運用フェーズの波はあるものの、総じて拡大基調で推移
- ✓ 戦略的な案件獲得のために取組んだ、事業部間に横串を刺した管理体制の強化が奏功

民間関連事業

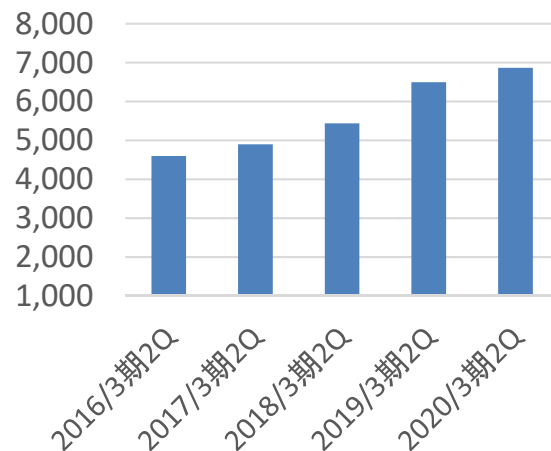
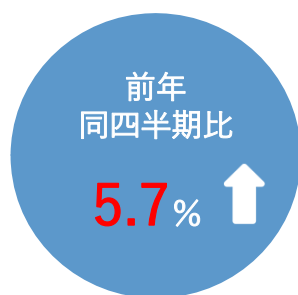
最終ユーザーは主に民間企業。

日本IBM様を始めとし、沖電気様、ソフトバンク様、TISインテック様等とのパートナーシップの下、さまざまな民間企業向けシステムの開発や基盤構築から運用保守まで行っている。

業務アプリケーション、通信制御システム、IoT、AI、RPA等、係るシステムは多岐にわたる。

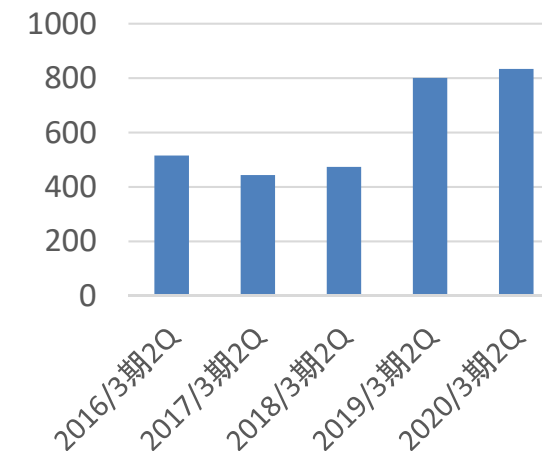
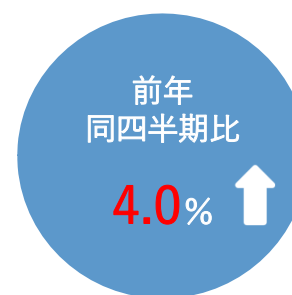
売上高

(単位:百万円)



セグメント利益

(単位:百万円)

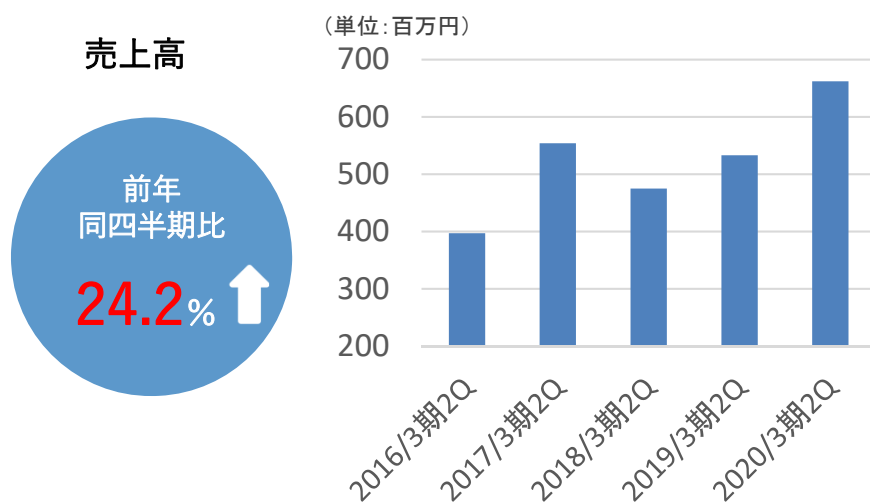


- ✓ 請負案件やクラウド案件等、持帰り開発比率の上昇により成長基調を維持
- ✓ 人手不足の問題は依然として続いているが、リソースの有効活用や人材確保に注力し、IoT・AI・クラウド・RPA等の分野における取組みも積極的に推進

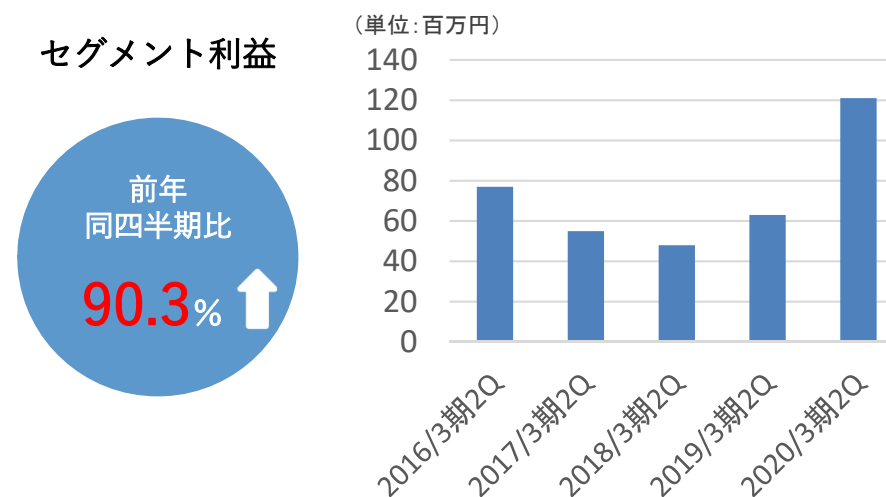
セキュリティ機器 関連事業

提供先は官民間わず、広い顧客基盤を持つ。
暗号技術・電子透かし・デジタルフォレンジック・サイバーセキュリティ等の技術を活用し、セキュリティ事故を防ぐための防御対策から事後対応までカバーし、さまざまなニーズに対応。海外にも多くのパートナーを持ち、成長技術の習得およびスペシャリストの育成に努めている。

売上高



セグメント利益

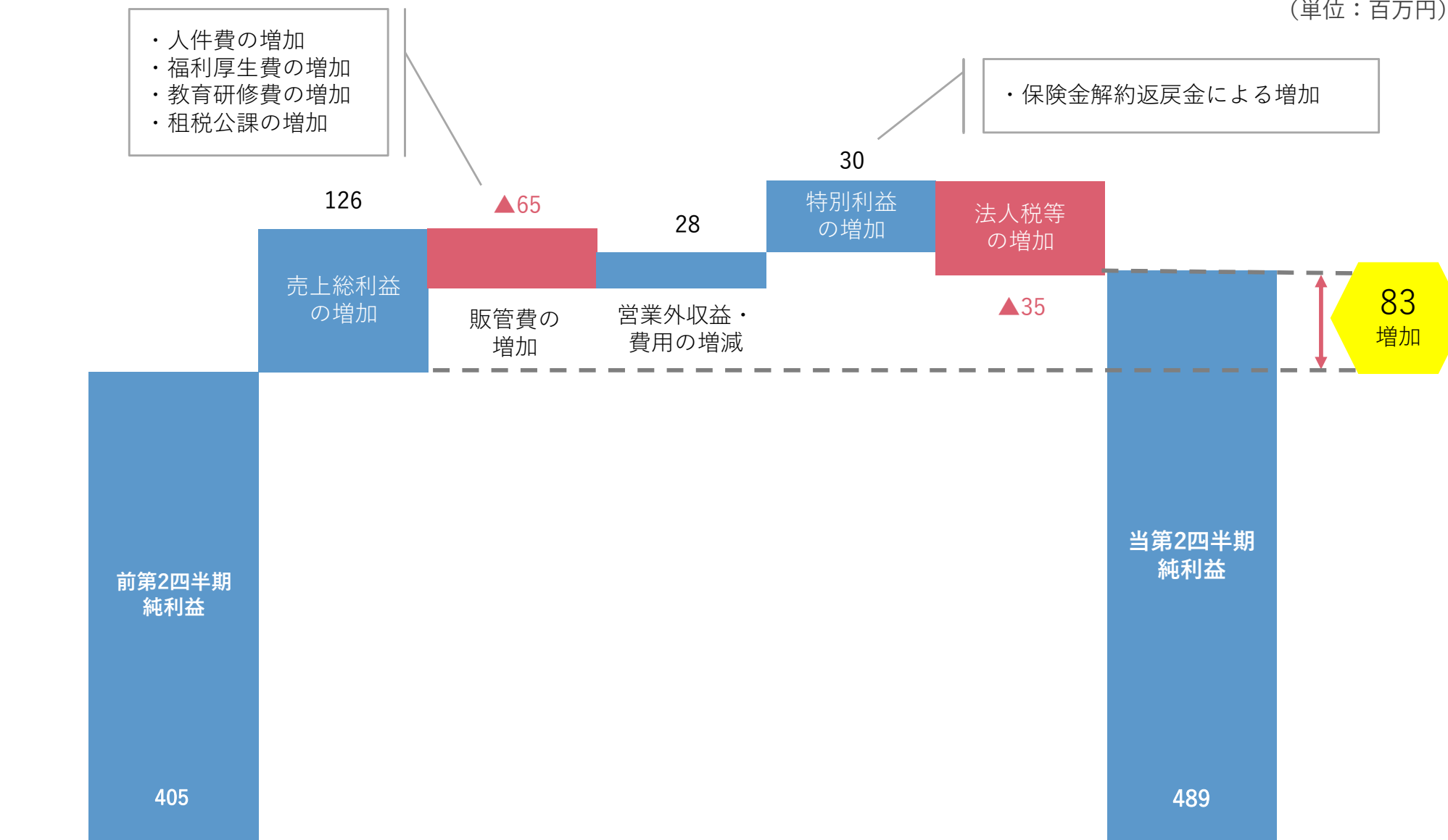


- ✓ セグメント全体を通して順調に推移
- ✓ 情報セキュリティの脅威が高度化・多様化している背景から、製品販売と専門技術提供の両輪による事業展開が市場ニーズにマッチし、高収益案件が増加

(単位：百万円)

| | 前事業年度 | 当第2四半期会計期間 | |
|----------------|---------------|---------------|--|
| (資産の部) | | | |
| 流動資産 | 9,789 | 9,596 | 売掛金の減少 277百万円 仕掛品の増加 100百万円 |
| 固定資産 | 6,202 | 5,702 | |
| 有形固定資産 | 3,492 | 3,505 | |
| 無形固定資産 | 96 | 67 | |
| 投資その他の資産 | 2,613 | 2,129 | 投資有価証券の取得及び 時価評価による投資有価証券の減少 558百万円 |
| 資産合計 | 15,991 | 15,298 | |
| (負債の部) | | | |
| 流動負債 | 4,434 | 4,292 | 繰延税金負債の減少 221百万円 |
| 固定負債 | 2,450 | 2,213 | |
| 負債合計 | 6,885 | 6,506 | |
| (純資産の部) | | | |
| 株主資本 | 7,933 | 8,121 | |
| 資本金 | 2,905 | 2,905 | |
| 資本剰余金 | 2,138 | 2,138 | |
| 利益剰余金 | 3,249 | 3,437 | |
| 自己株式 | △359 | △359 | |
| 評価・換算差額等 | 1,170 | 667 | 投資有価証券の含み損 503百万円 |
| 新株予約権 | 2 | 2 | |
| 純資産合計 | 9,106 | 8,791 | |
| 負債純資産合計 | 15,991 | 15,298 | |

(単位：百万円)



(単位：百万円)

| | 前第2四半期 累計期間 | 当第2四半期 累計期間 |
|------------------|----------------|----------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 582 | 488 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △73 | △298 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △27 | △175 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 481 | 14 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,683 | 4,778 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 5,165 | 4,792 |

税引前四半期純利益の増加や、賞与引当金の増加等があった一方で、期末に偏重傾向にあった売上が平準化され、期首売上債権が減少した結果、前第2四半期累計期間と比較し、93百万円の減少

保険積立金の解約による収入があった一方で、プロジェクトルームの開設に伴う設備投資や、投資有価証券の取得等により、224百万円の支出の増加

返済が進んだことや、配当金の支払い額が増加したことにより、148百万円の支出の増加

前第2四半期累計期間と比較し、372百万円減少

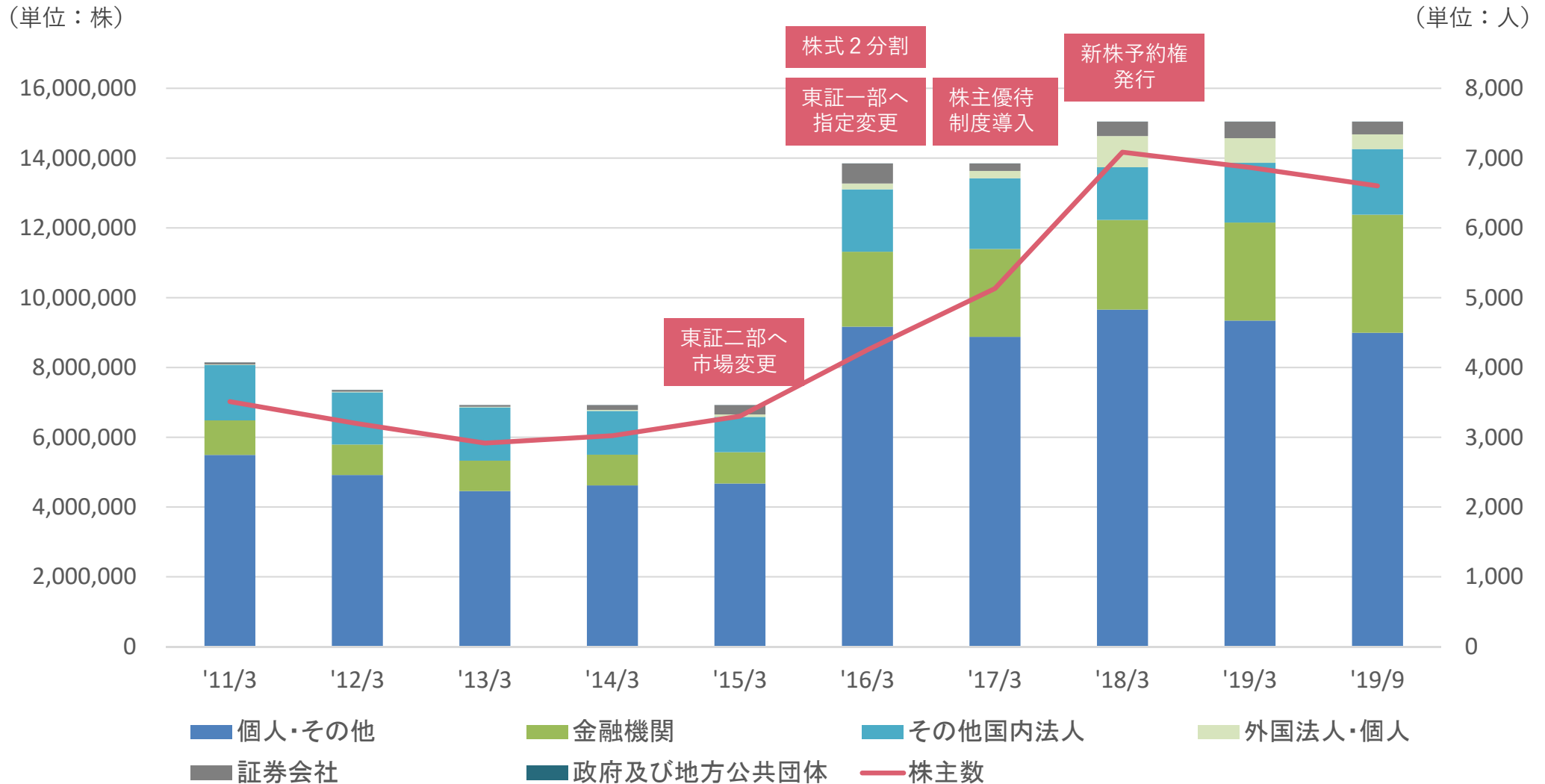
(単位：円)



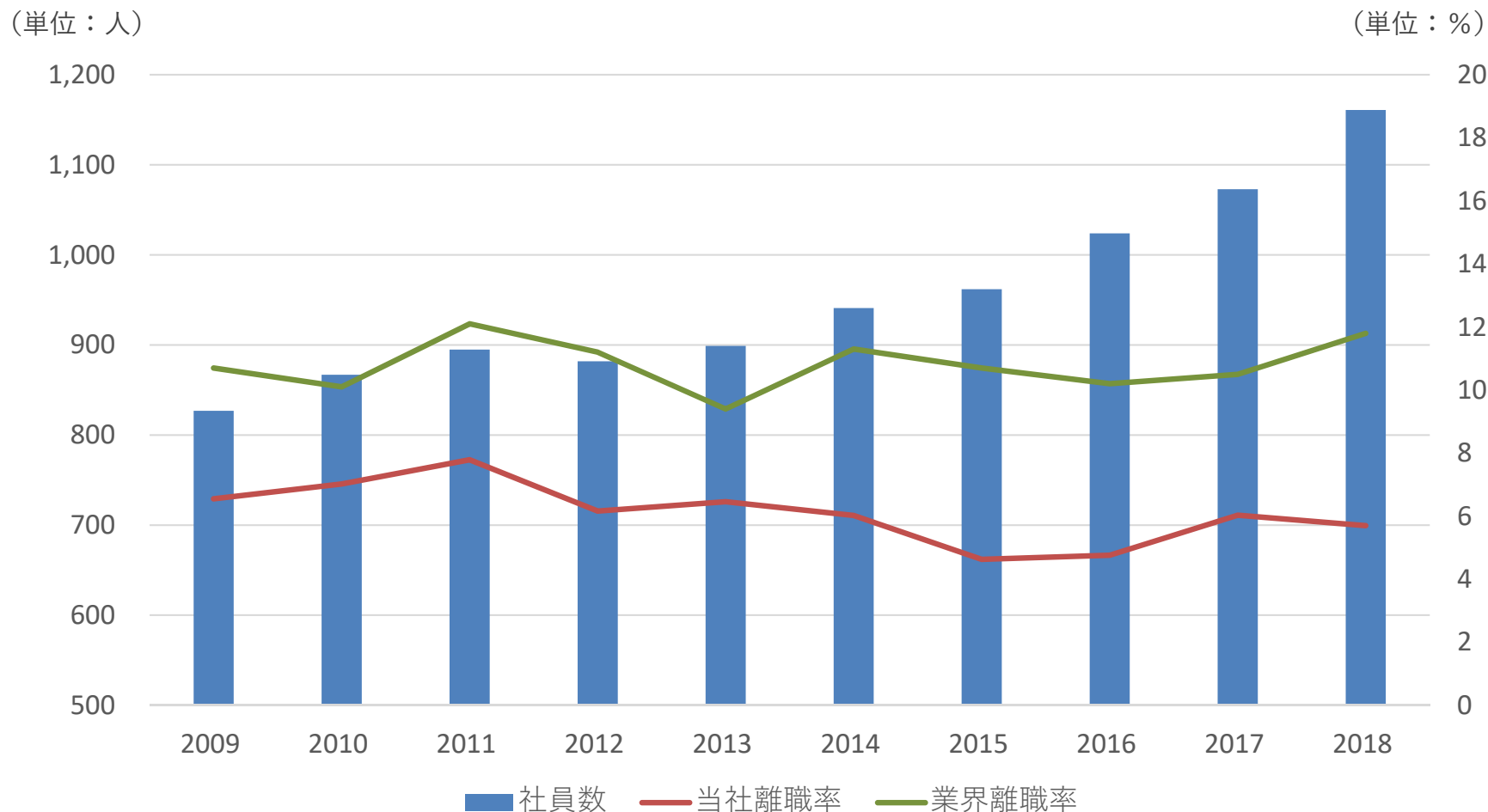
| | 2018/3期 | 2019/3期 | 2020/3期 (予想) |
|----------------|--------------|--------------|------------------------|
| 1株当たり当期純利益 (円) | 51.21 | 58.11 | 61.81 |
| 1株当たり配当金 (円) | 16.00 | 20.00 | 25.00 (うち、中間配当5.00) |
| | (期首計画) 12.50 | (期首計画) 16.00 | (期首計画) 20.00 |
| 配当性向 (%) | 31.2 | 34.4 | 40.4 |

配当性向は
上昇傾向

- ✓ 2019/9末の株主総数は6,602人（2018/9末比 6名減、2019/3末比 265名減）
- ✓ 外国人株主の他、個人株主及び証券会社の株数が減少し、投資信託・事業法人の株数が増加



- ✓ 人手不足が顕在化している業界において、採用は安定傾向
- ✓ 2017年から2018年にかけて、業界平均離職率が上昇した一方で、当社離職率は低下
業界平均を下回る離職率を継続中



※業界離職率は厚生労働省発表「雇用動向調査結果の概要」を参考にしております。

2 2020/3期（第44期）業績予想

- ✓ 新技術を活用した取組みや設備投資等、将来に向けた新たな施策を推進しつつ、2019/3期に引き続き、設立以来最高の売上高・利益更新を目指す
- ✓ 配当金は、中間配当（5.00円）の実施により、20.00円から25.00円に増配予想

| | 2019/3期 実績 (百万円) | 2020/3期 予想 (百万円) | 対前期増減率 (%) |
|-------|---------------------|---------------------|---------------|
| 売上高 | 21,453 | 21,800 | 1.6 |
| 営業利益 | 1,368 | 1,420 | 3.8 |
| 経常利益 | 1,375 | 1,420 | 3.2 |
| 当期純利益 | 874 | 930 | 6.4 |

| | 2019/3期 実績 | 2020/3期 (予想) |
|----------------|--------------|------------------------|
| 1株当たり当期純利益 (円) | 58.11 | 61.81 |
| 1株当たり配当金 (円) | 20.00 | 25.00 (うち、中間配当5.00) |
| | (期首計画) 16.00 | (期首計画) 20.00 |
| 配当性向 (%) | 34.4 | 40.4 |

3

<ご参考> トピックス

2019
4/2

筑波技術大学と、聴覚障害者向けに 複数人との会話におけるリアルタイム字幕表示研究

- ✓ 「誰が」「何を話したか」といった大量の聴覚情報をリアルタイムに視覚情報に変換
聴覚障害者の情報取得の助けとなるユーザーインターフェースの開発を行う
- ✓ 聴覚障害者の職域拡大や環境改善を目指す

2019
7/17

マイクロン社と、臨床試験の画像判定をAI化する システム開発に向け協業

- ✓ 医療現場の臨床試験における画像判定の課題解決に向けたシステム開発
(判定にかかるコスト／判定のばらつき／判定に要する時間等)
- ✓ 将来的には日常診療にも応用し、「医師不足」や「病変の見逃し」等の
社会問題を解決することを目指す

2019
9/2

AIによるファッションショー演出の実証実験 「動画内の人の認識とエフェクト合成動画作成」

- ✓ 東京ガールズコレクションのステージで株式会社 VRaiB（当社関連会社）と共同で開発したライブ AI エフェクトシステム「AI エフェクト LIVE!」の実証実験を実施
- ✓ 「AI エフェクト LIVE!」は、動いている人の顔だけでなく、全身を動画で認識し、自動で追尾して撮影動画にエフェクトを追加することができるソリューション

2019
9/10

Google Cloud Platform™ Service（サービス）パートナー、 G Suite Sell（販売）パートナー認定を取得

- ✓ これまで培ってきたあらゆる産業における業務知識・ノウハウ・顧客基盤と、Google™ が提供するサービスである Google Cloud Platform（GCP™）、G Suite を軸に、クラウドビジネスの更なる拡大を図る
- ✓ 当社の既存ソリューションと連携を図り、お客様へのサービスの向上、付加価値の創出を目指す

2019
10/18

営業支援/顧客管理ソリューション「intra-mart DPS for Sales」 自社導入により顧客視点の活用ノウハウを蓄積し、 価値形成を強化して顧客に提供

- ✓ 日々の営業活動による案件状況の変化をタイムリーに可視化
管理者は状況の変化を見逃さず、最適な”営業支援”を実現することができる
- ✓ ファーストユーザーとして自社に導入するとともに、顧客への提供も開始
ユーザーとしてのリアルな顧客視点を取り入れたご提案を武器に、拡販を進める

2019
10/29

大阪工業大学と、効率的なAI教師データ作成の開発に着手 ～教師データ作成の自動化を目指す～

- ✓ 教師データの作成にかかる作業負担が、AIシステムのスピーディな導入を阻んでいる
顧客の課題解決に取組み、AI事業の拡大につなげる
- ✓ 問い合わせ業務の教師データ作成を検討しており、
新たなソリューション創出の一環として、2020年中の製品化を目指す

4

<ご参考> 当社の概要

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社フォーカスシステムズ |
| 事業内容 | ソフトウェア開発及びITサービスの提供 セキュリティ製品の開発、販売、サービスの提供 |
| 本社 | 東京都品川区東五反田2-7-8 フォーカス五反田ビル |
| 事業拠点 | 東京、大阪、名古屋 |
| 資本金 | 29億500万円 |
| 上場市場 | 東証第一部（証券コード：4662） |
| 従業員 | 1,161名（2019年3月31日現在） |

- 1977 (S52) ソフトウェア開発を目的として、株式会社フォーカスシステムズを設立
- 1978 (S53) 沖電気工業(株)と取引を開始し、電子交換機のソフトウェア開発業務開始
- 1988 (S63) 日本電信電話(株)（現(株)NTTデータ）と取引を開始し、官公庁向けシステムの受託開発開始
- 1996 (H8) 日本証券業協会に株式を店頭登録（現 東京証券取引所JASDAQスタンダード）
- 1997 (H9) 日本IBM(株)と取引を開始し、システム保守・運用／インフラ技術支援業務の受託開始
- 1999 (H11) セキュリティ部門の受託開始（情報セキュリティ事業開始）
- 2004 (H16) 情報セキュリティでの新分野デジタルフォレンジック製品販売開始
- 2015 (H27) 東京証券取引所市場第二部へ市場変更
- 2016 (H28) 東京証券取引所市場第一部銘柄へ指定替え



3つのFOCUS

1st FOCUSシステム
インテグレーション

情報システムの導入に際し、お客様の業務目的に応じた情報システムの企画・開発から、運用までを総合的に行います。

2nd FOCUS

ITサービス

最先端のIT技術を活用し、お客様の業務システムやIT環境の最適化や問題解決を支援し、ITから得られる価値を高めます。

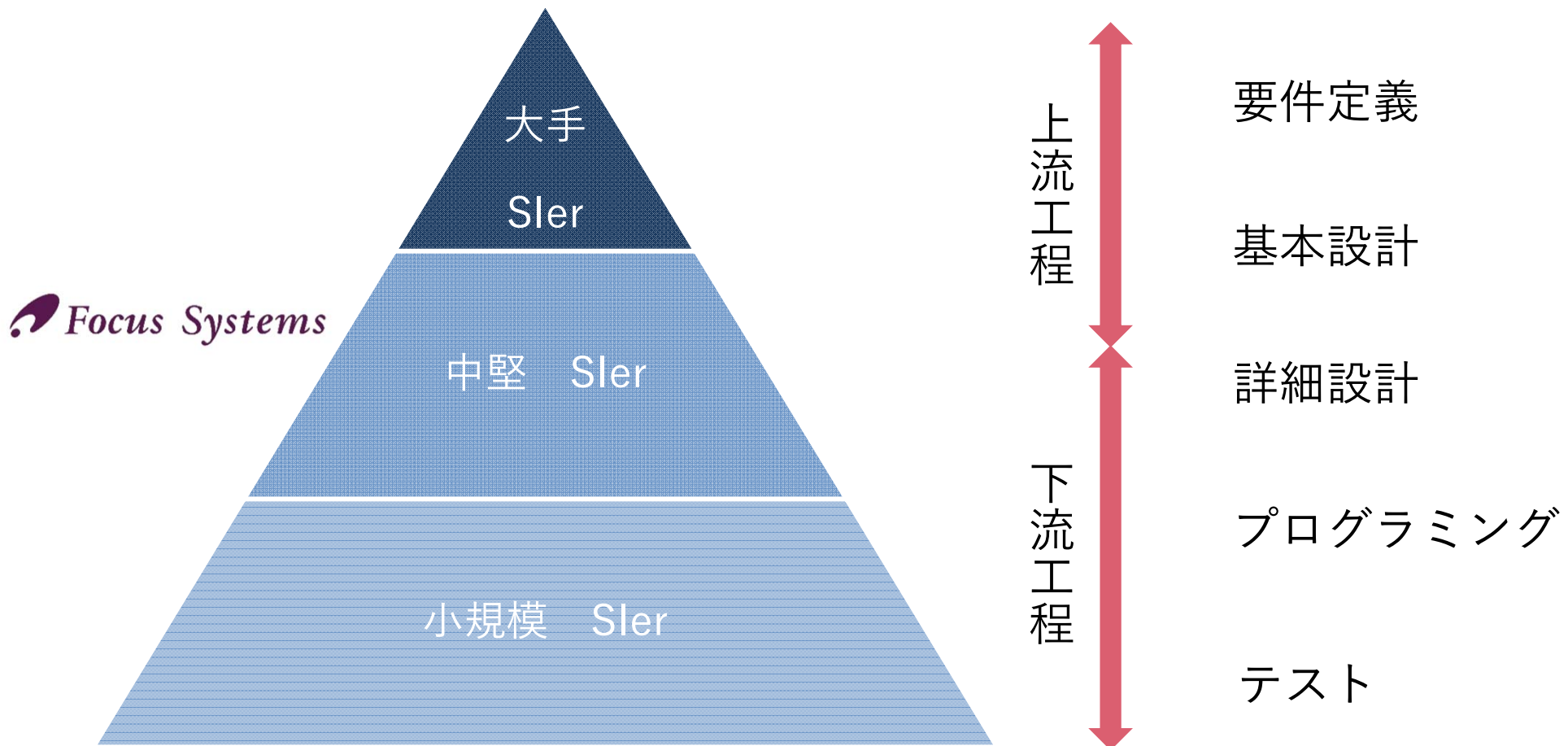
3rd FOCUS

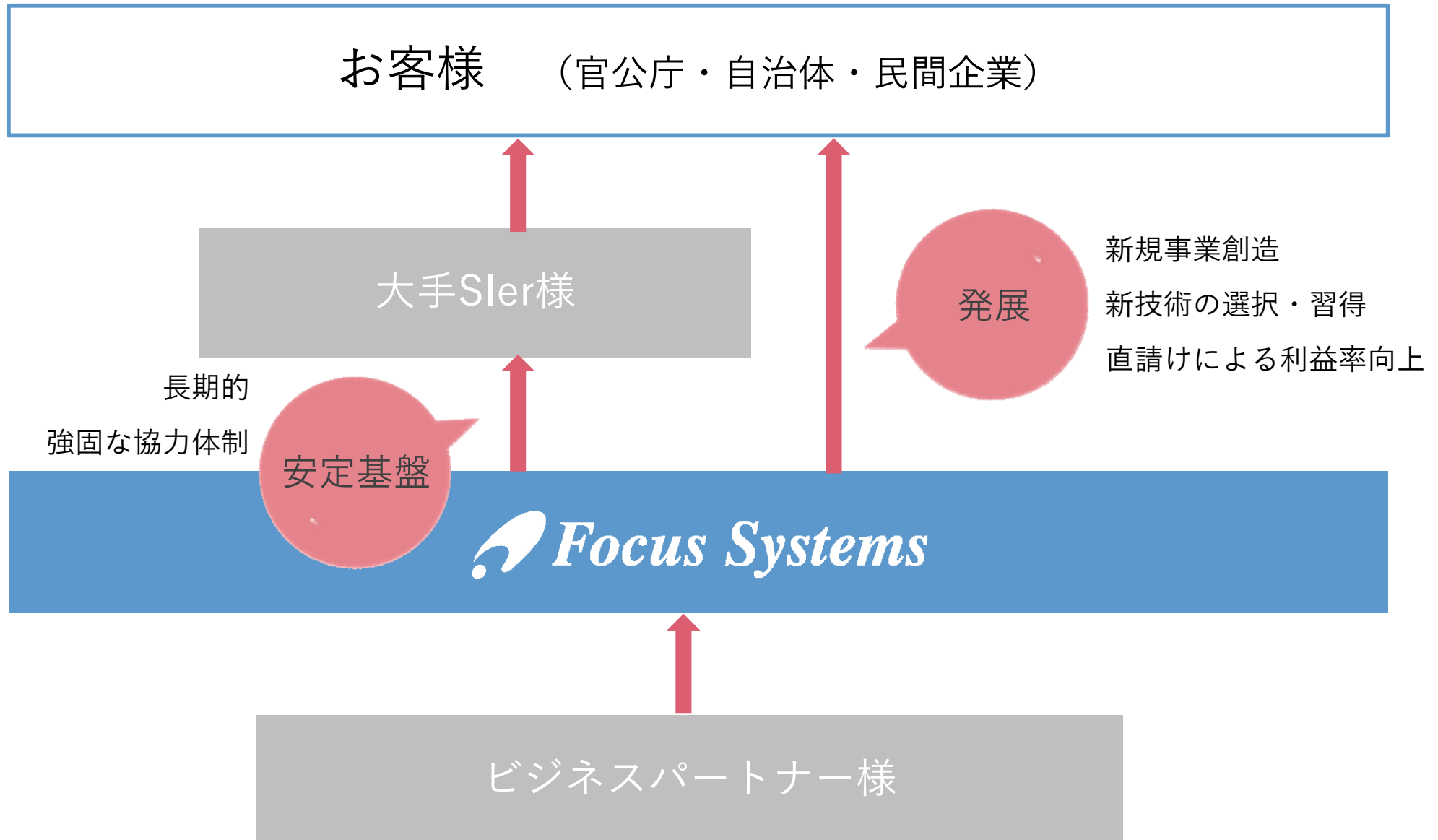
情報セキュリティ

フォレンジック、暗号、電子透かしなどの情報セキュリティ技術で「情報リスク」をコントロールします。

フォーカスシステムズは独立系のシステムインテグレーター (SI)

工程は、上流から下流まで、プロジェクトは小規模から大規模まで
(稼働後運用・保守含む)





公共 関連事業

当社の安定基盤

- ・ 長期的に継続する多数のシステムに参画
- ・ 定期的なライフサイクル（法改正対応／システム更改）
- ・ 長年培ってきた深い専門知識と豊富な実績

民間 関連事業

事業の発展拡大

- ・ 幅広いビジネス領域
（スマートフォン・自動車・クラウド・AI・RPA・業務アプリ他）
- ・ 人口減少時代における「ICTを活用した生産性向上」、
「攻めのIT経営」促進の流れにより、拡大が続く市場

セキュリティ 機器関連事業

高付加価値な技術

- ・ 希少価値の高い「デジタルフォレンジック」技術の保有
- ・ 自社技術「暗号」「電子透かし」の保有
- ・ 防衛省様・警察庁様・金融庁様等、中央省庁にも多数導入

フォーカスシステムズの技術は、さまざまなシーンで社会を支えています。

サイバーセキュリティ

サイバー攻撃に対する防御や事後対応、
ハイテク犯罪調査ソリューション

金融機関向けシステム

メガバンク向け顧客管理
システムの開発や新銀行の基盤構築

医療事務システム

診療を受けた時の診療報酬の
電算処理システムの開発

社会保険システム

全国の年金事務所をつなぐ
年金制度を支えるシステムの開発

Web アプリケーション

システム共通基盤 (Intra-mart 等)、ERP パッケージ
を用いた、ソリューション提案から開発、保守運用

通信制御システム

携帯電話基地局、ルータやゲート
ウェイなど、通信制御装置の
ファームウェアの開発

電子行政システム

行政サービスの電子化に伴う
システムの開発

自動車登録システム

車、バイク等の所有者や車検状況を
管理するシステムの開発

暗号技術

電子情報を漏洩や改ざん
などのリスクから守る
ための次世代暗号技術

航空管制システム

管制官が使用する、いわば
「空の信号機」システムの開発

貿易流通システム

輸出入に関する手続きを
処理するシステムの開発

Beacon 開発

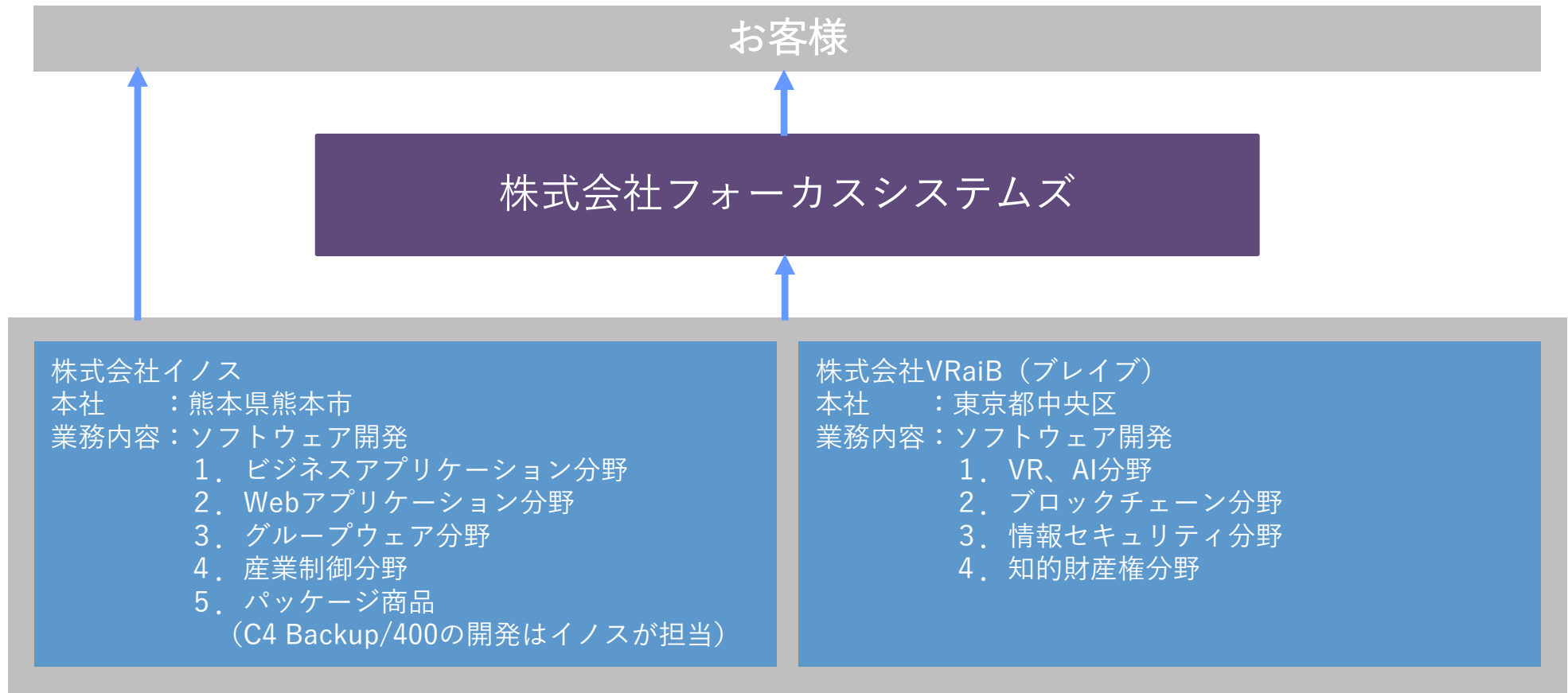
Bluetooth® Smart 規格に準拠した
薄型ウェアラブルデバイスの製造、
ソリューション提案からアプリケー
ション開発

RPA

ロボットによる業務自動化により、
生産効率を上げるソリューション

福祉介護システム

要介護者が受けている介護内容を
管理するシステムの開発



関連会社の状況 (2019年9月)

| 社名 | 持分 (%) | 売上高 (千円) | 経常利益 (千円) | 純利益 (千円) |
|-----------|--------|----------|-----------|----------|
| 株式会社イノス | 20.0 | 608,886 | 72,486 | 49,191 |
| 株式会社VRaiB | 20.0 | 31,920 | 761 | △102 |

ワークライフバランス

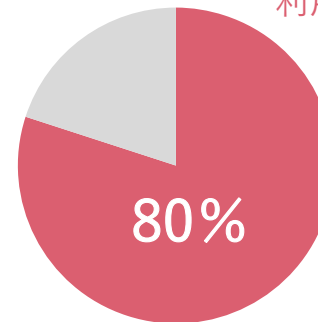
1 短日・短時間勤務制度

…仕事と育児・介護の両立を支援する制度
短日（週3日）、短時間（1日5または6時間）が選択可能
※育児は小学校3年生まで、介護は介護事由がなくなるまで可

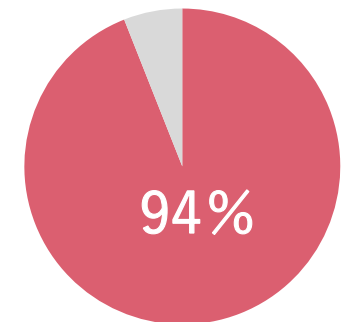
くるみん（次世代育成支援）
認定



育児休業あけ
短日・短時間勤務制度
利用率



育児休業取得した社員の
復職率



※2018年度実績

2 ジョブリターン制度（再雇用制度）

…ライフイベント（結婚・出産・育児）や
キャリアアップ（留学・転職）を目的として退職した場合、
10年以内であれば再雇用OK

3 フレックス制度

…フレキシブルタイムとコアタイムを設け、
ライフスタイルに合わせた働き方を推進

ダイバーシティ

1 職域創成

- …障害者雇用の新たな職域創成を目指し、水耕栽培による野菜の生産業務を2015年に開始。障害者雇用版広報紙も定期発行
現在は、事務系職域の開拓も推進



2 女性社員交流会

- …若年層の女性を対象に、働き方などを伝え、キャリアプラン形成のサポートを実施



えるぼし（女性活躍推進）

2016年4月に、女性活躍推進に関する取組みが認められ、最上位（3段階目）の認定を受ける

1 部活動支援

…社員の健康を促進するため、部活動への活動支援を実施
 現在、9つの部活に約100名が所属



2 健康管理セミナー

…生活習慣改善と肥満予防のための食事改善や、睡眠時無呼吸症候群の
 予防・改善、ウォーキング等、テーマ別のセミナーを実施



3 オンライン禁煙プログラム

…パソコンやスマホ・タブレットで受診できるオンライン通院、禁煙補助薬の処方
 を組合わせた禁煙治療プログラムを導入。禁煙に取り組む社員をサポート

1 マスコットキャラクター 「ふくえさん」

フォーカスシステムズや
情報システムの世界を身近に感じて頂くよう
ビジネスのこと、業績のこと、社員のことなど
ふくえさんを通してさまざまな情報を発信



2 オリジナルマンガ 「フォレンジック刑事」

当社が売り上げを伸ばしている
デジタルフォレンジック分野について
幅広いステークホルダーの方々に
理解を深めて頂くためのコンテンツ



＼LINESTOREで検索！／

ふくえさん



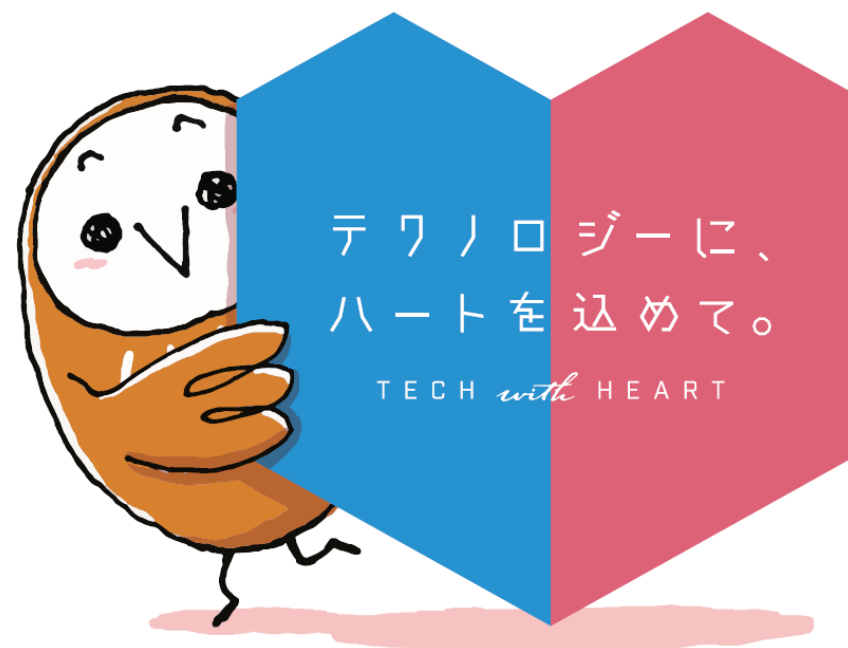
WEBマガジンで全話掲載中

| 非連結通期 | 2015/3期 | 2016/3期 | 2017/3期 | 2018/3期 ※2 | 2019/3期 ※2 |
|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 売上高（千円） | 15,081,738 | 16,482,792 | 17,846,896 | 19,327,344 | 21,453,829 |
| 営業利益（千円） | 940,310 | 953,356 | 743,538 | 1,025,541 | 1,368,284 |
| 経常利益（千円） | 897,205 | 950,301 | 731,331 | 1,019,522 | 1,375,563 |
| 当期純利益（千円） | 592,742 | 738,841 | 551,571 | 719,243 | 874,282 |
| 資本金（千円） | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 | 2,905,422 |
| 発行株式総数（千株）※1 | 8,146 | 16,292 | 16,292 | 16,292 | 16,292 |
| 純資産額（千円） | 6,769,094 | 7,415,953 | 7,258,918 | 9,201,228 | 9,106,539 |
| 総資産額（千円） | 14,340,827 | 14,936,873 | 14,567,320 | 16,820,805 | 15,991,992 |
| 1株当たり純資産額（円）※1 | 488.86 | 535.58 | 524.24 | 611.34 | 605.04 |
| 1株当たり配当額（円）※1 | 12.50 | 16.00 | 12.50 | 16.00 | 20.00 |
| 1株当たり当期純利益（円）※1 | 42.81 | 53.36 | 39.83 | 51.21 | 58.11 |
| 自己資本比率（%） | 47.2 | 49.6 | 49.8 | 54.7 | 56.9 |
| 自己資本利益率（%） | 10.0 | 10.4 | 7.5 | 8.7 | 9.6 |
| 配当性向（%） | 29.2 | 30.0 | 31.4 | 31.2 | 34.4 |
| 従業員数（人） | 962 | 1,024 | 1,073 | 1,116 | 1,161 |
| 株価 年度高値（円）※1 | 1,210 | 888 | 634 | 1,350 | 1,153 |
| 株価 年度安値（円）※1 | 540 | 340 | 412 | 503 | 774 |

※1 株式分割後（2015年10月1日、普通株式1株→2株）の数値で算定しております。

※2 「総資産額（千円）」及び「自己資本比率（%）」は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用した後の数値となっております。

今後とも、ご指導ご支援のほど
よろしくお願い申し上げます。



本資料は、2019年11月8日現在において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る2019年11月8日現在における仮定を前提としております。
実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
従って、当社グループとして、その確実性を保証するものではありません。